

# 令和4年度事業報告書

自 令和 4年4月 1日  
至 令和 5年3月31日

## 1 事業概要

令和4年度の配合飼料価格は、飼料原料穀物が高値で推移したことに加え為替相場も円安傾向で推移したこと等により、近年まれに見る高騰となりました。

そのため、配合飼料価格安定制度では、第1四半期から第4四半期まで、異常補てんを含む高額の補てん発動が継続しました。

通常補てんの財源については、高額補てんが継続したことにより、全日基による長期借入金の借入による補てん財源の確保と、借入金の圧縮のための分割交付が実施されました。

令和4年度第3四半期以降の異常補てんについては、準備財源の枯渇による「払いきり補てん」が実施されましたが、畜産経営の飼料コスト負担が大きくなっていることから、国による緊急対策が実施され、対象となる飼料に対し第3四半期が6,750円/トン補てんされ、第4四半期も8,500円/トンの補てんが予定されています。

また、県により、第2四半期の対象となる飼料に対して2,000円/トン、及び令和4年度の全期間の対象となる飼料に対し、200円/トンの補助事業が実施され、畜産農家の負担軽減が図られました。

肉用牛肥育経営安定交付金制度については、令和4年において、肉専用種が8月から5期連続で発動し、交雑種では、1・3・4・5・12月を除く全ての月で、また、乳用種については、昨年引き続き全ての月で発動がありました。

一方、家畜衛生面においては、高病原性鳥インフルエンザの国内での発生が継続しており現在まで収束していない状況にあります。

このような厳しい情勢の中、当協会としては、会員傘下の畜産農家の健全な発展のため、会員各位と連携を密にして、主事業である配合飼料価格差補てん事業の円滑な推進及び各種の畜産振興対策事業を積極的に取り組みましたのでその概要を報告します。

## 2 会員の状況

会 員 名	期 首	期中増減	期 末
飼料荷受組合	13	—	13
配合飼料製造業者	12	—	12
配合飼料販売業者	7	—	7
計	32	—	32

### 3 事業実施等実績

#### (1) 配合飼料価格差補てん事業

##### ① 本年度の契約数量及び積立金

令和4年度中の契約数量及び積立金

(単位:件、ト、%、円)

畜種	当初契約		畜種別割合	年度内				最終契約		積立金 (600円/ト)
	件数	数量		転入		解約		件数	数量	
				件数	数量	件数	数量			
乳牛	71	10,124	3.6	—	—	4	614	67	9,510	
肉牛	156	72,760	23.6	1	2	1	10	156	72,752	
豚	37	82,070	30.6	—	—	2	62	35	82,008	
採卵鶏	43	65,480	24.5	—	—	2	380	41	65,100	
肉用鶏	12	46,982	17.7	—	—	—	—	12	46,982	
計	319	277,416	100.0	1	2	9	1,066	311	276,352	

##### ② 配合飼料価格差補てん金の交付実績

配合飼料価格差補てん事業については、第1～3四半期まで発動がありました。

第4四半期についても、950円/トンの補てん金が発動予定となっています。

なお、高額補てんに対応していくため、借り入れによる補てん金の支払いを行わざるを得ない状況となりましたが、借入金の額を極力圧縮し、将来にわたる生産者及び飼料メーカーの負担の軽減を図るために補てん金の分割交付を行っています。(4分割)

区分	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (令和5年1月～3月)
補てん単価 (円/t)	6,023	13,970	4,933	5,385
通常補てん金 (第1四半期分)	(1,262)	(1,259)	(1,259)	(1,259)
通常補てん金 (第2四半期分)		(1,365)	(1,363)	(1,363)
通常補てん金 (第3四半期分)			(1,815)	(1,813)
通常補てん金 (第4四半期分)				(623)
異常補てん金	(4,761)	(11,346)	(496)	(327)
対象件数 (件)	308	309	305	302
契約数量 (kg)	69,503,000	66,680,000	72,582,000	67,587,000
補てん対象数量 (kg)	66,124,986	61,324,576	67,786,483	63,344,988
補てん率 (%)	95.1	92.0	93.4	93.9
補てん金額 (円)	398,270,672	863,438,794	323,538,851	351,574,917
(内訳) 通常補てん金	83,449,676	167,650,212	289,916,806	330,861,167
異常補てん金	314,820,996	695,788,582	33,622,045	20,713,750
1件当たり補てん額 (円)	1,293,086	2,794,300	1,060,783	1,164,155

##### ③ 配合飼料価格安定基金の運営に関する実態調査の実施

(一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金の委託を受け、飼料荷受組合及び特約店における基金関係業務の実態調査を実施しました。(調査対象: 1 飼料荷受組合、2 特約店)

(2) 畜産関係リース事業

(一財) 畜産環境整備機構と当協会との業務委託契約に基づき、畜産環境整備リース事業(旧 1/2 補助付きリース)及び畜産高度化支援リース事業(補助付きリース)に係る借受者に対する貸付料等の徴収、機構への納付などの業務を行いました。

(3) 肉用子牛生産者補給金制度 (令和2年度～令和6年度)

肉用子牛価格が低落し、平均売買価格が保証基準価格を下回った場合には国からの補給金が、更に合理化目標価格を下回った場合には、国、県、生産者で積み立てた積立金を取り崩して生産者補給金を交付し、肉用子牛生産者の経営の安定を図るもので、事業主体である(一社)長崎県畜産物価格安定基金協会から業務の一部委託を受け、個体登録及び生産者積立金の徴収等を行いました。

なお、本年度は乳用種のみ補てん金の発動がありました。

ア 令和4年度の保証基準価格及び生産者積立金 (単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	交雑種
保証基準価格		541,000	164,000	274,000
合理化目標価格		429,000	110,000	216,000
生産者積立金		1,600	6,800	3,200
負担 区分	機 構 (1/2)	800	3,400	1,600
	県 (1/4)	400	1,700	800
	生産者 (1/4)	400	1,700	800
平均 売買 価格	3年度 1～3月	730,200	231,200	324,400
	4年度 4～6月	668,500	210,000	293,300
	7～9月	605,400	149,500	275,400
	10～12月	614,000	127,400	301,400

イ 令和4年度加入及び積立金の納付状況 (単位：戸、頭、円)

区 分	契約戸数	個体登録 頭 数	積立金納付額
黒毛和種	2	1,219	487,600
交雑種	2	3,182	2,545,600
乳用種	1	332	564,400
計	3	4,733	3,597,600

(注) 1 委託費の計算期間が令和4年1～令和4年12月のため、個体登録頭数、積立金納付額は令和4年の数値で計上。

2 黒毛和種1,219頭のうち、1,213頭は生産者積立準備金より納入。

ウ 補てん金の交付状況(乳用種) (単位：頭、円/頭、円)

区 分	交付頭数	交付単価	交付金額
令和4年 7-9月	89	14,500	1,290,500
令和4年 10-12月	71	36,600	2,598,600
令和5年 1-3月	89	15,900	1,415,100

**(4) 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン)**

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の拠出と機構の補助により造成した基金から粗収益と生産費との差額の9割を補てんすることにより、肉用牛肥育経営の安定を図るもので、(一社)長崎県畜産協会から業務の一部委託を受け、個体登録申込み及び販売報告等を行いました。

交付金の発動状況については、肉専用種が8月から5期連続で発動し、交雑種では、1・3・4・5・12月を除く全ての月で、また、乳用種については、昨年に引き続き全ての月で発動がありました。

① 令和4年度個体登録実績頭数 (単位:頭)

品種区分	肉専用種	乳用種	交雑種	計
頭数	7,477	326	4,350	12,153

② 令和4年度生産者負担金納付実績 (令和4年4月～令和5年3月) (単位:頭、円)

品種区分	肉専用種	乳用種	交雑種	計
頭数	6,541	316	4,828	11,685
納付額	100,600,580	5,725,920	86,710,880	193,037,380

③ 1頭当たりの負担金 (単位:円)

区分	1頭当たり負担金	負担区分			
		農畜産業振興機構(3/4)	生産者負担金(1/4)		
			生産者	長崎県	計
肉専用種	68,000	51,000	15,380	1,620	17,000
乳用種	76,000	57,000	18,120	880	19,000
交雑種	76,000	57,000	17,960	1,040	19,000

④ 交付金の交付実績 (単位:頭、円)

区分	交付頭数	交付金額	備考
肉専用種	2,875	94,783,249	発動回数:5回
乳用種	303	12,939,051	発動回数:12回
交雑種	3,114	68,480,184	発動回数:7回
計	6,292	176,202,484	

※月別交付詳細は次頁

<交付金発動状況：発動期間 令和4年1月～令和4年12月>

(単位：頭、頭/円、円)

月	肉専用種			乳用種			交雑種		
	頭数	単価	補てん金額	頭数	単価	補てん金額	頭数	単価	補てん金額
1月	—	—	—	17	50,295.6	666,415	—	—	—
2月	—	—	—	19	51,054.3	880,686	347	12,519.9	4,291,191
3月	—	—	—	23	50,246.1	1,155,659	—	—	—
4月	—	—	—	22	39,903.3	857,919	—	—	—
5月	—	—	—	26	42,264.9	1,098,886	—	—	—
6月	—	—	—	19	43,892.1	833,949	455	30,939.3	14,077,379
7月	—	—	—	34	38,371.5	1,304,630	436	34,163.1	14,886,567
8月	561	51,387.3	28,828,265	30	44,452.8	1,333,582	453	43,261.2	19,597,319
9月	568	35,761.5	20,312,526	22	40,458.6	890,089	452	21,557.7	9,744,075
10月	571	37,443.6	21,380,287	31	46,010.1	1,333,312	489	10,291.5	5,032,542
11月	631	26,754.3	16,881,950	30	36,964.8	1,108,942	482	1,765.8	851,111
12月	544	13,566.6	7,380,221	30	49,166.1	1,474,982	—	—	—
計	2,875	—	94,783,249	303	—	12,939,051	3,114	—	68,480,184

※総交付額：176,202,484円(6,292頭)

#### (5) 肉豚経営安定交付金制度 (豚マルキン)

平成23年度から、(独)農畜産業振興機構と養豚農家が直接契約する「直接交付方式」で実施されることになりましたが、当協会としては、事務委託を希望する生産者との間で事務委託契約を締結し、従来どおり飼料荷受組合等との連携を図りながら受託者としてその業務を代行しました。

本年度は、補てん金の発動はありませんでした。

##### ① 令和4年度委託契約実績 (3月の出荷分までを集計)

受託件数 (件)	事業対象頭数(頭)	
	当初計画	実績
19	130,000	122,334

##### ② 1頭当たり積立金

(単位：円)

1頭当たり 積立金	負担区分			
	農畜産業振興機構 国(3)	生産者積立金(1)		
		生産者	長崎県	計
1,600	1,200	336	64	400

**(6) 長崎和牛肥育素牛導入事業**

長崎和牛の生産拡大を図るため、増頭計画を作成し、経営規模の拡大を進める和牛肥育農家に対し、素牛導入経費の一部助成を行いました。

対象戸数 7戸 補助対象 250頭 補助金額 12,500,000円 (@50,000円)

**(7) 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業（国庫：新規）**

飼料価格高騰による畜産経営への影響緩和のため生産コスト削減や飼料自給率向上に取り組む生産者に対して、令和4年度第3四半期の飼料価格上昇分の一部を支援しました。

第4四半期もトン当たり8,500円の支援が引き続き決定しています。

(第3四半期実績)

対象戸数 298件 対象数量 67,774,443kg トン当たり単価 6,750円  
補てん金額 457,477,484円

(第4四半期予定)

対象戸数 288件 対象数量 63,124,530kg トン当たり単価 8,500円  
補てん金額 536,558,503円

**(8) 飼料価格高騰緊急対策事業（県単：新規）**

飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和のため、飼料コスト低減に取り組む農業者の令和4年度の生産者積立金を支援しました。

対象戸数 309件 対象数量 276,352,000kg トン当たり単価 200円  
補助金額 55,270,400円

**(9) 畜産経営体質強化飼料高騰緊急対策支援事業（県単：新規）**

飼料価格の高騰による畜産経営への影響緩和のため、飼料コスト低減に取り組む農業者の令和4年度第2四半期の飼料費の一部を支援しました。

対象戸数 309件 対象数量 66,680,000kg トン当たり単価 2,000円  
補助金額 133,360,000円